

## 多発性骨髄腫患者における ダラツズマブ療法について

### スケジュール

注射投与が、DBd 療法、Dld 療法のダラツズマブだけの時に指示がある

参考

DBd 療法

ダラツズマブ(ダラザレックス®)	16mg/kgd.i.v.		day1,8,15(1~3 サイクル) day1,(4~8 サイクル)
ボルテゾミブ(ベルケイド®)	1.3mg/m <sup>2</sup>	s.c.	day1,4,8,11
DEX(レナデックス®)	40mg/body	p.o.	day1,4,8,11,15

21 日毎

9 サイクル以降

ダラツズマブ(ダラザレックス®)	16mg/kgd.i.v.		day1
------------------	---------------	--	------

28 日毎

支持療法として

Day1:内服アセトアミノフェン、クロルフェニラミン、モンテルカスト

DLd 療法

ダラツズマブ(ダラザレックス®)	16mg/kgd.i.v.		day1,8,15,22(1~2 サイクル) Day1,15(3~6 サイクル) Day1(7 サイクル以降)
レナリドミド(レブラミド®)	25mg/body	p.o.	day1~21
DEX(デカドロン®)	40mg/body	p.o. or d.i.v.	day1,8,15,22

28 日毎

支持療法として

Day1:内服アセトアミノフェン、クロルフェニラミン、モンテルカスト

### ガイドライン上の扱い

DBd 療法、Dld 療法参照

### 治療効果

DBd 療法、Dld 療法参照

### 副作用%(Grade3 以上)

DBd 療法、Dld 療法参照

### インフュージョンリアクション予防

1000ml の生食に希釈後、1 時間毎に 50→100→150→200ml/hr と点滴速度上昇

前投薬は、解熱鎮痛薬、抗ヒスタミン薬、ロイコトリエン阻害剤（呼吸器症状の発現が多いため）、ステロイド（治療薬として DEX を投与）

## 輸血に及ぼす影響

不規則抗体を持たない患者でも偽陽性になることがある。そのため、薬剤投与前に確認しておく必要がある。

(通常、赤血球へ不規則抗体が結合することで凝集がおこるが、ダラツズマブは赤血球表面の CD38 に結合し、凝集をおこしてしまうため)

## 備考

### 【ダラツズマブ (ダラザレックス)】

#### 《Infusion reaction》

投与開始後 1～2 時間の発現が最も頻度が高いが、投与 24 時間以降にもグレード 1 及び 2 の infusion reaction が各 1 件報告されている。

#### 《感染症》

帯状疱疹、サイトメガロウイルス感染症が日和見感染症として報告されている。

B 型肝炎ウイルスの再活性化の報告あり。肝炎ウイルスマーカーや肝機能の定期検査の実施を確認する。